

January 4, 2001 9:53am Page 5

PUB. NO.: 03-146856 [JP 3146856 A]
PUBLISHED: June 21, 1991 (19910621)
INVENTOR(s): YOKOGAWA NAOMITSU
APPLICANT(s): OLYMPUS OPTICAL CO LTD [000037] (A Japanese Company or
Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 01-282860 [JP 89282860]
FILED: November 01, 1989 (19891101)

ABSTRACT

PURPOSE: To allow the formation of a *report* in which rules and printing do not overlap with the *format* *desired* by a person who requests an analysis by synthesizing *report* format information and analysis data information in accordance with printing position information.

CONSTITUTION: A *format* *selecting* means 6, into which the facility code number of the requester in the specimen information read by a specimen information reading-in means 10 is sent, selects the call-out code number of the *report* format coinciding with the facility code number sent therein and calls out the necessary *report* *format* and the *printing* position information corresponding thereto. The analysis data called out by an analysis data calling out means 3 and the *report* *format* *selected* by the means 6 as well as the printing position information corresponding thereto are respectively sent to an analysis data format synthesizing means 9, by which the analysis data information and *report* format information are synthesized in accordance with the printing position information. The synthesized *report* format information and analysis data information are sent to a *printing* means 9 to *form* the *report* of the analysis data by printing on paper which is not *printed* with the *format*.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平3-146856

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)6月21日

G 01 N 27/26

Z

7235-2G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 分析データの報告書作成装置

⑯ 特 願 平1-282860

⑰ 出 願 平1(1989)11月1日

⑱ 発 明 者 横 川 尚 充 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリンパス光学工業株式会社内

⑲ 出 願 人 オリンパス光学工業株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

⑳ 代 理 人 弁理士 杉村 暁秀 外5名

明 細 書

1. 発明の名称 分析データの報告書作成装置

2. 特許請求の範囲

1. 化学分析装置にて分析した分析データの報告書作成装置において、報告書フォーマット情報及び分析データ情報とをフォーマット上の分析データ印字位置を指定する印字位置情報に基づいて合成する手段と、この合成した報告書フォーマットと分析データとを同時に印字する手段を具えることを特徴とする分析データの報告書作成装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は電気泳動装置等の化学分析装置の報告書の作成装置に関するものである。

〔従来の技術〕

化学分析装置で分析したデータを記録して報告書を作成する装置は、従来は化学分析装置の種類に応じてあらかじめ決められた特定のフォーマットを印刷した報告書用紙に、このフォーマットに

従ってデンスシグラムや測定値などを印字して分析データの報告書を作成していた。第2図は、従来の報告書作成装置による報告書作成の過程を示すブロック図である。電気泳動装置11から送られてくる分析データを分析データ記憶手段12に記憶させておき、印字位置記憶手段13には、使用する報告書フォーマットの印字位置を記憶させておく。この印字位置情報により、分析データの印字位置が決定されることとなる。分析データ記憶手段12に記憶されている分析データ及び分析データ印字位置記憶手段13に記憶されている印字位置を記憶呼出合成手段14で呼び出し、これら分析データ情報と印字位置情報を合成する。記憶呼出合成手段14で合成した分析データ情報と印字位置情報とを適当な印字手段15に送り、あらかじめ報告書フォーマットが印刷された用紙に、上記データを印字位置情報に従って印字して報告書の作成を行うようにしている。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来の報告書作成装置では、あらかじめ

め決められた特定の記録フォーマットでしか報告書を作成することができなかった。すなわち、報告書のフォーマットは分析を依頼された側で、分析装置の種類に応じて決めた特定のものに限定されており、そのフォーマットをあらかじめ印刷した用紙に分析データを印字して報告書を作成するようにしていた。しかしながら、分析を依頼する依頼元は一定ではなく、それぞれの依頼元で分析データの整理の都合に応じて特有のフォーマットによる報告書の作成を希望することがある。このような場合、従来の装置では報告書フォーマットがあらかじめ決まっているため、依頼者の希望するフォーマットで報告書を作成することができなかった。あるいは、分析依頼者の希望に答えるためには、フォーマットを入れ換える必要があり、そのための作業が面倒であった。

また、分析データの印字を行うプリンタは印字位置を決める機構を具えているが、あらかじめフォーマットが印刷されている用紙に印字する場合に実際の印字位置とフォーマットの印字すべき位

置との間に数 程度の誤差を生じる場合があり、フォーマットの罫線や文字と印字が重なってしまうという欠点もあった。

本発明は、上記欠点を解消し、分析の依頼元が希望するフォーマットで報告書を作成することが可能であり、かつフォーマットの罫線等と印字が重なることのない分析データの報告書作成装置を提供するものである。

〔課題を解決するための手段及び作用〕

上記課題を解決するために、本発明は化学分析装置にて分析した分析データの報告書作成装置において、報告書フォーマット情報及び分析データ情報とをフォーマット上の分析データ印字位置を指定する印字位置情報に基づいて合成する手段と、この合成した報告書フォーマットと分析データとを同時に印字する手段を具えることを特徴とするものである。

上述のとおり、本発明の報告書作成装置においては、報告書のフォーマット情報と分析結果情報とを合成して、フォーマットと分析結果を同時に

- 3 -

印字するようにしているため、分析を依頼した依頼元の要求に応じた報告書フォーマットで分析データの報告書を作成できると共に、報告書フォーマットの罫線等と分析データの印字が重なり合うという不都合も解消することができる。〔実施例〕

第1図は、本発明の報告書作成装置の一実施例を示すブロック図である。本実施例では、本発明の装置を電気泳動装置に応用したものである。

電気泳動装置1にて分析した被検検体の分析データを分析データ記憶手段2へ送って、ここに記憶させておき、更に分析データ呼び出し手段3にて呼び出し可能な状態にしておく。一方、キーボード、イメージスキャナ等の報告書フォーマット入力手段4を用いて、各分析依頼元のそれぞれの希望に応じた報告書フォーマットをフォーマット記憶手段5に記憶させておく。この際、依頼元の施設コード番号と一致する呼び出しコード番号をそれぞれ対応する報告書フォーマットに付しておくようにする。また、キーボード等の印字位置入

力手段7にて各報告書フォーマットにおける印字位置をフォーマット記憶手段5に入力しておき、各報告書フォーマットに対応させて記憶させておく。

一方、電気泳動装置1にて試料の分析を行う際に、検体を収納したサンプルカップに付されているバーコード等の検体情報を検体情報読込手段10にて読み込むが、この読み込んだ検体情報の中の依頼元の施設コード番号をフォーマット選択手段6に送り込むようにする。フォーマット選択手段6では、検体情報読込手段10から送り込まれた施設コード番号と一致する報告書フォーマットの呼び出しコード番号を選択して、必要な報告書フォーマット及びそれに対応する印字位置情報を呼び出す。

分析データ呼び出し手段3にて呼び出した分析データと、フォーマット選択手段6にて選択した報告書フォーマット及びそれに対応する印字位置情報をそれぞれ分析データ・フォーマット合成手段8に送り、分析データ・フォーマット合成手段

- 4 -

- 5 -

- 6 -

8では前記印字位置情報に基づいて分析データ情報と報告書フォーマット情報とを合成する。このようにして合成した報告書フォーマット情報及び分析データ情報を印字手段9に送り、フォーマットの印刷されていない用紙に印字して、分析データの報告書を作成するようにする。

このように構成することにより、それぞれ異なった複数の依頼元から分析を依頼された場合に、報告書をその依頼元の希望に応じたフォーマットで作成することが可能である。更に、各フォーマットの印字位置情報に基づいて報告書フォーマット情報と分析データ情報を合成し、報告書フォーマットと分析結果とを同時に印字するようにしているため、実際の印字とフォーマットの印字位置との間にずれを生じることもない。

上述の実施例では、電気泳動装置による分析データの報告書を作成するようにしているが、他の化学分析装置による分析データの報告書を作成する際にも本発明の装置を応用できることは言うまでもない。

〔発明の効果〕

上記説明した通り、本発明の報告書記録装置によると、自動的にそれぞれの依頼元が要求しているフォーマットで報告書を作成することが可能であり、依頼元ごとに報告書フォーマットを変更する手間を省くことができる。また、それぞれのフォーマットの印字位置情報に基づいて報告書フォーマット情報と分析データ情報を合成し、報告書フォーマットと分析データを同時に印字するようにしているので、報告書のフォーマットと実際の印字位置がずれることがない。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、従来の報告書作成装置による報告書の作成過程を示すブロック図、

第2図は、本発明の報告書作成装置による報告書の作成過程を示すブロック図である。

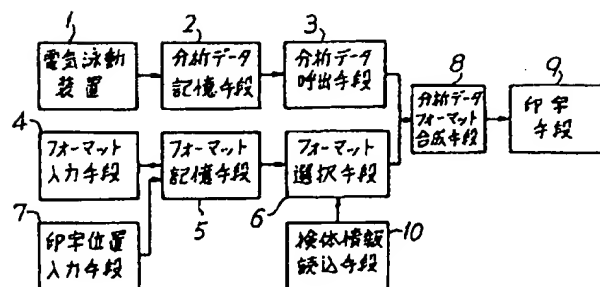
- 1…電気泳動装置
- 2…分析データ記憶手段
- 3…分析データ呼出手段
- 4…フォーマット入力手段
- 5…フォーマット記憶手段
- 6…フォーマット選択手段
- 7…印字位置入力手段
- 8…分析データ・フォーマット合成手段
- 9…印字手段
- 10…検体情報読込手段

- 7 -

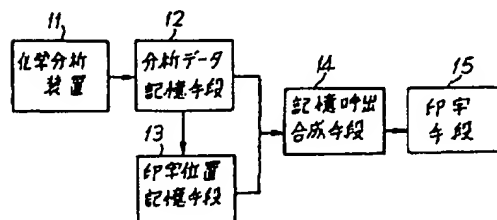
- 8 -

- 5…フォーマット記憶手段
- 6…フォーマット選択手段
- 7…印字位置入力手段
- 8…分析データ・フォーマット合成手段
- 9…印字手段
- 10…検体情報読込手段

第1図



第2図



- 9 -

手 続 補 正 書

平成 2 年 5 月 9 日

特許庁長官 吉 田 文 毅 殿

1. 事件の表示

平成 1 年 特 許 願 第 2 8 2 8 6 0 号

2. 発明の名称

分析データの報告書作成装置

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

(037) オリジナル光学工業株式会社

4. 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関三丁目2番4号
霞山ビルディング7階 電話(581)2241 番(代表)

氏 名 (5925)弁理士 杉 村 曉 秀



住 所 同 所

氏 名 (7205)弁理士 杉 村 興 作



5. 補正の対象

明細書の「発明の詳細な説明」「図面の簡単な説明」の欄

6. 補正の内容 (別紙のとおり)



1. 明細書第4頁第1行の「数 程度」を「数 程度」に訂正する。
2. 同第7頁第1行の「基いて」を「基づいて」に訂正する。
3. 同第8頁第13行の「従来」を「本発明」に訂正し、
同頁第15行の「本発明」を「従来」に訂正する。

- 1 -